

## 2024（令和6）年度 曾田豊二 SPIO 研究助成金受領者

氏名	国籍	留学先	研究テーマ
Maria Angela Dealino（女）	フィリピン	東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科	重度嚥下障害へのマンOMETRY検査による術式選択と咽頭縫縮術併用効果の検証

## 2024（令和6）年度 曾田豊二 SPIO 奨学金受領者 各100万円

氏名	所属	留学先	留学期間	留学目的
山崎あやめ	東京医科歯科大学	米国 Icahn School of Medicine at Mount Sinai	2024年9月1日～2026年6月30日	めまい平衡学の基礎および臨床研究
都築 伸佳 <sup>※2</sup>	慶應義塾大学	米国 National Institutes of Health	2024年9月3日～2026年9月2日	「内耳損傷に対する早期血清および外リンパバイオマーカーの同定」を研究テーマとし内耳基礎研究に従事する
山田 智史 <sup>※1</sup>	浜松医科大学	米国 School of Medicine University of Michigan	2025年3月1日～2027年3月31日	唾液腺粘表皮癌はシスプラチン（CDDP）投与により Bmi-1 発現が亢進し癌幹細胞性を獲得するため効果が乏しい。申請者が行ってきたナノスーツ法は、立体構造や核酸の破壊を排除し走査型電子顕微鏡観察を行う手法である。本研究では、唾液腺粘表皮癌 PDX モデルに Bmi-1 阻害薬や CDDP の投与を行い、既存の空間マルチオミクス解析にナノスーツ法を取り入れ微細空間での解析に挑む。加えて、細胞株による機能解析や臨床検体で解析を行う。CDDP 耐性化機序の解明や Bmi-1 阻害薬の臨床応用を目指す Nor 研究室は唾液腺癌研究の最先端であり最適な留学先である
鹿子島大貴 <sup>※2</sup>	京都大学	カナダ Sunnybrook Health Sciences Centre	2024年10月7日～2026年10月6日	内耳発生過程における転写因子 Ebf1 の機能を解析する研究に従事してきた。留学先研究室は蝸牛神経再生に関して多くの功績を残しており、ヒト組織を使用した新規研究を精力的に行っている。留学で蝸牛神経再生研究に関わる実験手法を身につけ内耳研究に携わる研究者と国際交流関係を築き、国際発信力の向上、内耳研究を前進させることを目的とする

※1 留学開始時期が変更となった為、助成金を辞退された

※2 耳鼻の海外留学支援制度に採択された為、助成金を辞退された（出資金が同じ曾田豊二基金のため）

2025（令和7）年度 曾田 SPIO 研究助成金・奨学金の募集について  
今年度の募集は、6月以降のホームページをご覧ください。http://www.spio.or.jp

### 野村恭也先生を偲んで -国際交流の取り組みとその足跡-

三井記念病院特任顧問 奥野 妙子

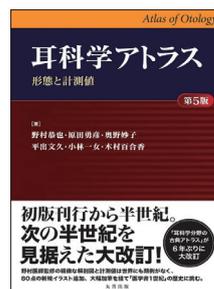
野村恭也先生が2024年12月3日逝去されました。SPIO の理事長を2003年から2022年まで勤められ、日本の耳鼻咽喉科の国際活動にご尽力いただきました。私が東京大学の医局でご指導を受けた頃の国際交流の思い出をいくつか紹介させていただきたいと思います。

野村先生が教授に就任された後、1983年に The international Symposium on basic and Clinical Otolology という学会が催され、Schuknecht, Kimura, Wersall, Gacek, Lim など著名な先生方が日本に來られました。また、1988年には渡邊勲先生が president でしたが野村先生が実質の運営で Collegium Oto-Rhino-Laryngologicum Amicitiae Sacrum が箱根で開催されました。これらの学会で、世界の著名な耳鼻咽喉科医の先生方の質疑応答を聞くことができ、どういふところが問題なのかも知ることができました。また、この先生方が医局で講演もしてくださり、この時は直接質問もできました。当時、私は車で通勤していたので、これらの先生方が成田に降り立られた際にお迎えに上がる役目の時は、論文では知り得ない耳科学の苦勞を伺うこともありました。

この頃、東大医局には台湾、韓国、中国、フィリピンなどから留学された先生方が在籍し、賑やかな医局でした。各国の状態は様々で、耳鼻科医のバイブル「耳科学アトラス」の自国語翻訳版をお土産で持ってこられた先生もいらっしゃいました。海賊版という認識は日本ではありましたが、まだアジアでは特許権という意識はなかった時代です。

私は1984年～1985年に米国 Pittsburgh に留学いたしました。この時も野村恭也先生の知名度はとても高く、自己紹介をする時に『野村先生の元で仕事をさせていただいておりました』という、信用厚く、相手の方の態度が違いました。

ますます国際交流が密になってきている昨今です。日本耳鼻咽喉科学会を通じて、また SPIO を通じて、医局員、日本の耳鼻咽喉科医師の国際交流に尽力をされた野村恭也先生のご貢献に限りない感謝を申し上げるとともに、ご冥福をお祈り申し上げたいと思います。



耳鼻科医のバイブル



野村先生と Schuknecht 先生